

表-6.14.1(5) 既存の現地調査結果の概要 (その4)

浜下り	平成13年3月28日(木)(12:00頃~15:00頃)
活動場所	白保集落北側海岸域
活動の状況	大潮の時期に合わせて、アオサをはじめとする海産物の日常的な採取の状況を把握した。調査を行ったのは轟川河口付近と白保集落北側海岸域を中心に調査を行った。轟川河口付近ではアオサ採りは確認できなかったが、魚釣りをしている親子連れと、巻き貝の採取をしている男性一人を確認できた。また、白保集落北側海岸では、北棧橋よりさらに北側の海岸部では、アオサを採取している女性2人を確認することができた。
交通動態	調査を行った8:00~17:00までの乗用車の平均交通量で、上り方向は、集落南側では約63台/時、集落北側では約27台/時であった。下り方向の集落南側では約60台/時、集落北側では約30台/時であった。

**白保地区周辺図**

● 魚釣り等  
● アオサ採り

魚釣りを楽しむ親子連れ

轟川河口での大潮の様子  
遠くに見えるのが魚釣りの親子連れ

**活動状況**

アオサ採りをする白保集落の女性達

白保集落北側の海岸でとれたアオサ

轟川河口付近からカラ橋方面を望む

轟川河口付近のアオサ